

しのばず自然観察会より 2020-07 2020.07.16

しのばず自然観察会の活動再開について

☆新型コロナウイルス感染拡大防止のために、しのばず自然観察会では3月より3密を避け、人が集まる行為を自粛してきました。政府の緊急事態宣言は5月25日に、都県境をまたぐ外出自粛の要請も6月19日に解除となりました。しかし、その後も東京都では新感染者数が一日当たり2桁で推移し、7月に入って連日100名（さらに200名）を超えました。そこで大事をとって、しのばず自然観察会の野外活動と室内学習会の停止を7月半ばまで続けました。野外観察会再開に当たっては、活動時間の短縮、暑さへの対応など、これまで以上の配慮が求められますし、3密回避の努力が必要です。一人一人の体調判断や不参加の決断も重要になります。

2020年8月の活動 不忍池の蓮見

6月半ばにつぼみがふくらんだものの、その後雨模様の日が断続したせいか、不忍池のハスの開花進行は遅く、見ごろは梅雨明け頃になりそうです。下記のように、蓮池の自然観察から野外活動を再開します。暑さ対策の上からも、これまでと比べて活動範囲と時間の短縮が必要と思われるので、注意点をご理解ください。

集 合：2020年8月2日（日）午前10時 不忍池蓮池南西端

（野外ステージ西側、湯島交差点寄り） 今回は雨天（小雨）中止

持ち物：筆記用具、あれば双眼鏡、必要に応じて雨具 解散は昼頃

必携：帽子、飲み物、マスク、あれば扇子・うちわ、カメラ、日傘

密閉・密集を避けるため、集合地は地下鉄駅前を避けて戸外にしました。観察会中も、密接による会話はできるだけ避けてください。夏の不忍池は暑さが厳しいので、残った木陰で頻繁に休憩します。例年行ってきた上野動物園への入園は、予約制になったので今年は断念します。大声を出せないで、観察に集中してください。解散前に、今後の活動について相談します。終了後の谷中での通信発送作業は、密集回避のため行いません。

なお事情があって、雨天時には小川が集合係を担当できませんので、雨天（小雨）中止にします。次回以後の活動について、随時、手紙等でご意見をお寄せください。



不忍池のハス・ほかの生きもの 見どころ —蓮見観察会の折に各自ご利用ください—

ハスの花：白花は見つかりますか？ 通信 2020.06 を参照

花に虫は来ますか？

花後は？ はちす（ハチの巣状）は実を載せる花托と呼ばれる台です

ハスの茎：花を支えるのは花茎、葉を支えるのは葉柄、ハスの真の茎は地下茎

それらには穴があいている・・・空気を根に送る仕組みになっています

ハスの根：蓮根（れんこん）は地下茎 本当の根は蓮根の節から出ているひげ根

トンボ類：水上 or 陸上にいる 縄張りを持つ or 持たない 昔はヤゴの抜け殻が多数

花と蝶：去年はアベリアの花でカラスアゲハが吸蜜しているのが見られました

ほかにアカボシゴマダラ、アオスジアゲハ 動物園の湿地脇にコミスジ

セミ類：去年はニイニイゼミ、アブラゼミのほか、朝方にクマゼミが鳴いていました

日の出町発 初夏のたより

日の出町在住の竹内高子会員から、おたよりをいただきましたので、紹介します。

ホタルが発生したら写メールしようと、毎晩、帰宅途中の北大久野川を観てました。今年は夜が涼しいから遅れていると、ノンビリしていました。例年は家の近くの沢にも飛んで人の声で夜はにぎやかになるのに、静かで未だなんだと思ってました。ところが、去年の台風 19 号で川があらされたのが原因で今年は発生しなかった様子です。川がえぐられて深くなり、雨が降ると以前より流れが速くなりました。カジカも減りました。自然のバランスなので今年は諦めました。

でも、10 年ぶりにヨタカが夜早く一晩だけなきました。フクロウとアオバズクとムササビは健在。サンコウチョウも朝と夕方に 6 月初めによくなくて、ほっとしました。モリアオガエルの卵塊はオタマジャクシになりました。

（注・右写真：ホタルが発生してきた北大久野川。手前が上流側。平井川へ続く下流側の水際が削られているのが見えます）



しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL : <http://sinobazu.extrem.ne.jp>
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000 円 ほかに行事参加費

2019 年以前の会費未納の方もお忘れなく！ 退会の場合は早めに葉書で事務局へ。